



⑥-5

様式12

2021年 6 月 25 日

茨城県知事 殿

主たる事務所の所在地 牛久市猪子町字五十塚896番地

名称及び代表者の職氏名 医療法人社団 常仁会 ジョウジンカイ

理事長 種子田 吉 郎



決 算 届



2020年4月1日から2021年3月31日までの決算を終了したので、医療法第52条第1項の規定により届出します。

〔添付書類〕

- 1 事業報告書
- 2 財産目録
- 3 貸借対照表
- 4 損益計算書
- 5 関係事業者との取引の状況に関する報告書
- 6 監事の監査報告書
- 7 独立監査人の監査報告書



事業報告書

(自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団 常仁会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☒ その他 (経過措置型医療法人)
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

(2) 事務所の所在地 茨城県牛久市猪子町字五十塚 896 番地

(3) 設立認可年月日 昭和 53 年 10 月 31 日

(4) 設立登記年月日 昭和 53 年 11 月 14 日

(5) 役 員

	氏 名	備 考
理 事 長	種子田 吉郎	
常務理事	種子田 安郎	
理 事	瀬 下 明 良	牛久愛和総合病院管理者
同	高 橋 元	介護老人保健施設春秋園管理者
同	千 葉 俊 也	ひたち野ステーションクリニック管理者
同	種子田 佑人	
同	佐 居 益 代	
同	松 井 彩 夏	
同	中 野 達 也	
監 事	外 山 雄 一	

2 事業の概要

(1) 本来業務

種 類	施設の名称	開設場所	許可病床数
病 院	牛久愛和総合病院	茨城県牛久市猪子町 字五十塚 896 番地	一般病床 434 床 療養病床 55 床
診 療 所	ひたち野ステーション クリニック	茨城県牛久市ひたち野 東一丁目 32 番 8	
介護老人 保健施設	春 秋 園	茨城県牛久市猪子町 字五十塚 891 番 2	入所定員 100 名 通所定員 80 名

(2) 附帯業務

種類又は事業所名	実施場所	備 考
疾病予防運動施設	茨城県牛久市猪子町 字五十塚 896 番地	
訪問看護ステーション	茨城県牛久市猪子町 字五十塚 891 番 2	
訪問介護(老人居宅介護等事業)	同	

居宅介護支援事業	同	
身体障害者福祉法に基づく 身体障害者居宅支援事業	同	

(3) 収益業務 … 該当なし

(4) 当該会計年度内に社員総会で議決した事項

2020 年 7 月 10 日 2019 年度決算の承認・剰余金の処理

2021 年 3 月 19 日 2021 年度事業計画の決定・収支予算の決定
借入金額の最高限度額の決定の件

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債 … 該当なし

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債 … 該当なし

(7) 当該会計年度内に開設(許可を含む)した主要な施設

… ひたち野ステーションクリニック

茨城県牛久市ひたち野東一丁目 32 番 8

管理者 千葉 俊也

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

… 地域災害拠点病院指定、DMAT指定病院

(9) その他 … 該当なし

様式 2

法人名 医療法人社団 常仁会

※医療法人整理番号

所在地 茨城県牛久市猪子町字五十塚896番地

財 産 目 録

(2021年3月31日現在)

1. 資 産 額	8,590,825 千円
2. 負 債 額	6,629,643 千円
3. 純 資 産 額	1,961,182 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	4,705,799
B 固 定 資 産	3,885,026
C 資 産 合 計 (A + B)	8,590,825
D 負 債 合 計	6,629,643
E 純 資 産 (C - D)	1,961,182

- (注) 1. 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。
2. 本様式は、法第51条第2項の医療法人が使用する様式である。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3

法人名 医療法人社団 常仁会

※医療法人整理番号

所在地 茨城県牛久市猪子町字五十塚896番地

貸 借 対 照 表

(2021年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	4,705,799	I 流 動 負 債	2,671,032
現金及び預金	2,455,315	買 掛 金	1,561,974
医 業 未 収 金	1,787,875	短 期 借 入 金	99,600
貸 倒 引 当 金	△ 50,372	未 払 金	22,705
医 薬 品	110,174	未 払 費 用	244,975
診 療 材 料	47,833	預 り 金	40,417
貯 蔵 品	1,307	入 院 預 り 金	18,471
前 払 費 用	3,248	仮 受 金	4,858
貸 付 金	47,060	未 払 法 人 税 等	84,876
未 収 入 金	299,833	一年以内返済長期借入金	276,320
立 替 金	3,516	賞 与 引 当 金	292,520
仮 払 金	10	未 払 消 費 税	24,316
II 固 定 資 産	3,885,026	II 固 定 負 債	3,958,611
1 有 形 固 定 資 産	2,864,449	長 期 借 入 金	3,000,740
建 物	1,297,979	預 り 保 証 金	660
建 物 付 属 設 備	629,272	長 期 未 払 金	134,669
構 築 物	92,579	リ ー ス 債 務	3,885
医 療 機 械 装 置	274,554	退 職 給 付 引 当 金	818,657
什 器 備 品	164,670		
土 地	398,018		
建 設 仮 勘 定	3,492		
その他の有形固定資産	3,885		
2 無 形 固 定 資 産	170,854	負 債 合 計	6,629,643
電 話 加 入 権	4,135	純 資 産 の 部	
ソ フ ト ウ ェ ア	166,719	科 目	金 額
3 そ の 他 の 資 産	849,723	I 出 資 金	20,270
出 資 金	400	II 積 立 金	1,940,912
保 証 金	253,334	繰越利益積立金	1,940,912
保 険 積 立 金	148,308		
有 価 証 券	555		
繰 延 税 金 資 産	322,286		
長 期 貸 付 金	124,840	純 資 産 合 計	1,961,182
資 産 合 計	8,590,825	負債・純資産合計	8,590,825

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適當であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

4. 本様式は、法第51条第2項の医療法人が使用する様式である。

様式 4

法人名 医療法人社団 常仁会

※医療法人整理番号

所在地 茨城県牛久市猪子町字五十塚896番地

損 益 計 算 書
(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		10,794,040
2 事業費用		10,500,275
本来業務事業利益		293,765
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		250,362
2 事業費用		257,682
附帯業務事業損失		△ 7,320
事業利益		286,445
II 事業外収益		
受取利息	132	
その他の事業外収益	86,626	86,758
III 事業外費用		
支払利息	28,894	
その他の事業外費用	29,002	57,896
経常利益		315,307
IV 特別利益		
V 特別損失		
前期損益修正損	24,590	24,590
税引前当期純利益		290,717
法人税・住民税及び事業税	84,896	
法人税等調整額	△ 9,072	75,824
当期純利益		214,893

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
3. 本様式は、法第51条第2項の医療法人が使用する様式である。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 常仁会

理事長 種子田 吉郎 殿

私は、医療法人社団 常仁会の 2020 会計年度(2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の内容に関する報告書の監査を実施しました。

記


監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

2021 年 6 月 15 日

医療法人社団 常仁会

監事 外 山 雄 一



法人名 医療法人社団 常仁会
所在地 茨城県牛久市猪子町字五十塚896番地

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

独立監査人の監査報告書

令和3年6月16日

医療法人社団 常仁会
理事会 御中

公認会計士事務所

公認会計士

監査意見

私は、医療法第51条第5項の規定に基づき、医療法人社団 常仁会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第43会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上